【写真】1月5・6日に「第52回子ども書初大会」が小中学生併せて72名が参加し、開催されました。
半紙いっぱいに筆を走らせた迫力のある作品が数多く出揃いました。

令和3年（2021年）3月18日発行
編集・発行　岩見沢市教育委員会
〒068-0024　岩見沢市4条西3丁目1番地
であえーる岩見沢4階
第50号

教育広報

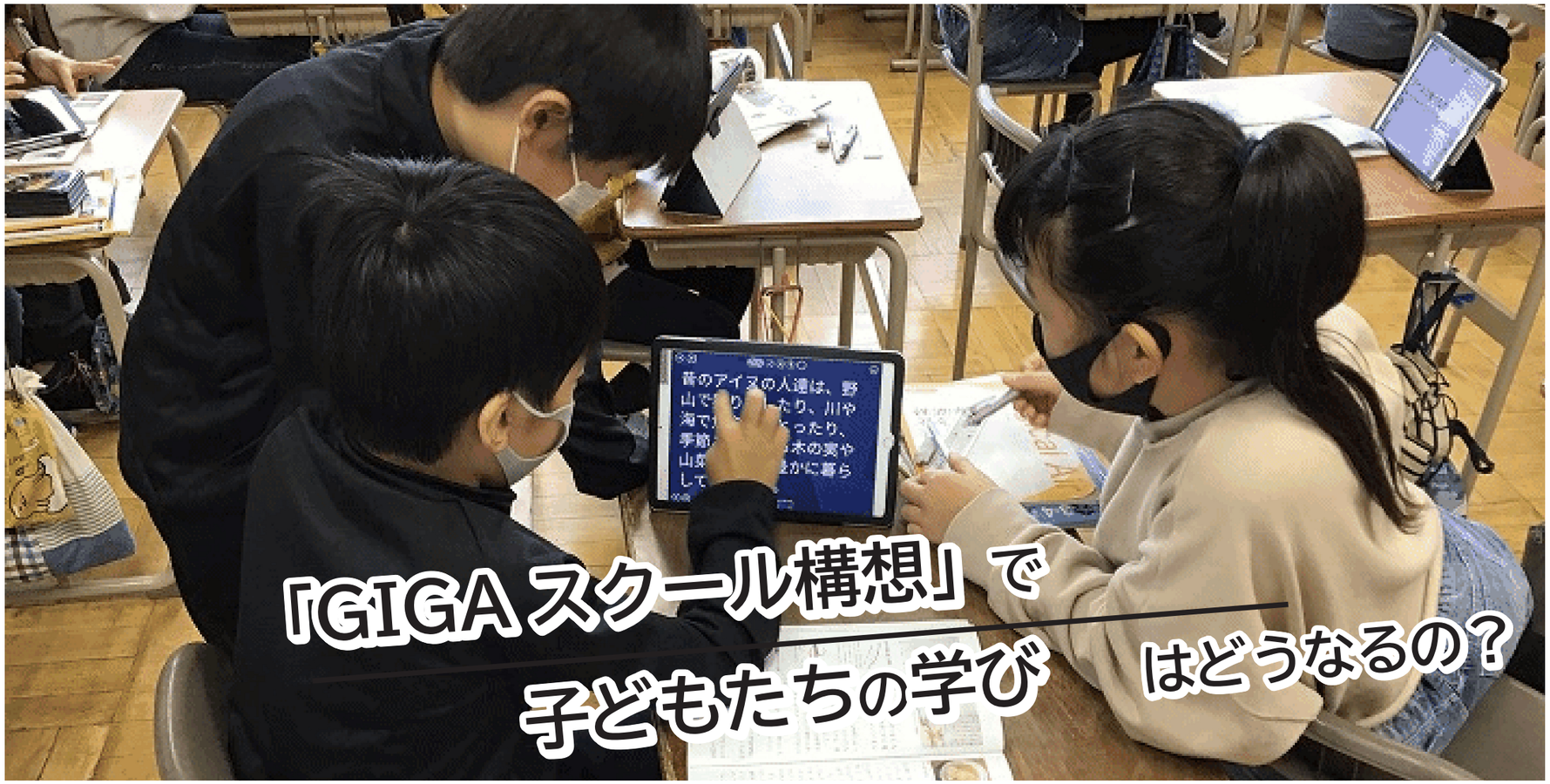
いわみざわ市の教育

－特集－
GIGAスクール構想で子どもたちの学びはどうなるの？

●教育実践奨励表彰
● ALTを紹介します
●学校における新型コロナウイルス感染症防止対策をご紹介します
●教育長室から

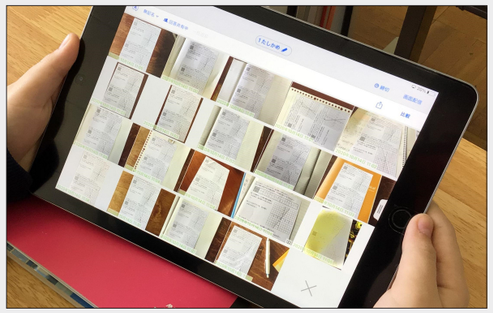
岩見沢市教育委員会 Facebook

市内の教育に関する行事の情報、市教委ホームページの更新情報などを発信していますので、ぜひ「いいね！」してください。
http://www.facebook.com/edu.iwamizawa



タブレット端末を活用した実践

上幌向中学校



❖数学の授業では、ロイロノートを活用し、クラス全体の回答を一覧にすることにより、他のクラスメイトと考え方の違いについて比較することができました。
❖ノートを見せ合っていたペア学習では、お互いにデータを送信し、理解を深めます。データを保存することで、次の授業の振り返りとして活用しています。

南小学校　第一小学校

❖南小学校の国語の授業では、ロイロノートのシンキングツール（考え方を整理するためのベン図や座標軸などの思考ツール）を使って、作文の組み立てを行いました。
❖第一小学校の国語の授業では、主張、理由、根拠を区別して、自分の意見を述べるためにシンキングツールを使って考えを整理しました。

緑中学校　明成中学校

❖緑中学校の理科の授業では、Google フォーム（Google G suite のアンケート機能）を使って授業中に理解したことを振り返り、先生に提出しました。
❖明成中学校の数学の授業では、Google スライド（Google G suite のプレゼンテーション機能）で自分だけの振り返りデータを作成しました。

「教えて考えさせる」授業スタイルへの タブレット端末の活用

課 題について考え、協働による深い学びの実現を目指す「教えて考えさせる」授業スタイルに、タブレット端末を効果的に活用していきます。また、授業でタブレット端末等のＩＣＴを活用する中で、子どもたちの「情報活用の実践力」を高めていくこともねらいとしています。

岩 見沢市の小・中学校では深い学びを実現するためのツールとして、「ロイロノートスクール」や「Google G suite」を全台に導入しています。「ロイロノートスクール」は、シンキングツールやプレゼンツールに特化した学習補助アプリケーションです。

教えて考えさせる授業の展開

教える　■課題把握

・単元ごとの基礎的な学習内容について、教科書、ノートやワークシートを使用して学習します。
・前回の授業の復習にタブレットを使用する場合もあります。

考えさせる　■理解確認

・学習したことをクラスメイトとペアになって説明し合います。
・自分の考えを説明する場合には、タブレットを使用して発信する場面もあります。

考えさせる　■理解深化

・「教える段階で学習したこと」や「今まで学習したこと」を使って解決する応用問題に取り組みます。
・ロイロノートの「シンキングツール」で考えを分類して整理したり、「送る」機能を活用して「提出箱」の回答共有で考えの比較をしたりします。
・タブレットの画面を大型提示装置に映すことで、模造紙やホワイトボードよりも手軽に子どもたちの考えを共有できます。

振り返る　■振り返り

・授業の中で理解したこと、話し合いや学び合いで自分の考えが変化したことなどを記述し発表します。
・授業中の学びや、授業内容のまとめを「ロイロノート」や「Google G suite」を活用して自分だけの振り返りデータを作成し、知識の定着を図ります。
・先生は子どもたちがまとめたデータを確認し、習熟度を把握した上で、次の授業の進め方を検討することができます。

令和２年度 岩見沢市 教育実践奨励表彰

Iwamizawa City Board of Education

教育委員会では、毎年、部活動などで活躍した児童生徒や、本市の教育に貢献していただいた個人や団体などを表彰する「岩見沢市教育実践奨励表彰」を行っています。

昨年に続き新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、残念ですが表彰式は執り行わないこととしました。

がんばりの軌跡

教育委員会では「岩見沢市教育実践奨励表彰」を受賞された皆さんから、写真の提供を受け、写真展を開催しています。その中からいくつか抜粋してご紹介させていただきます。

▲木村晴生さん（岩見沢小）

▲北川月空さん（第一小）

▲八城寿希さん（第二小）

▲大峠廣人さん（日の出小）

▲井上舞音さん（東光中）

▲濱田一希さん（明成中）

▲菅原琉聖さん（光陵中）

▲堀部響介さん（光陵中）

▲中田聖士（緑陵高）

写真展のご案内

岩見沢の子どもたちの活躍を広く市民に周知するため、岩見沢市教育実践奨励賞及び児童生徒優秀賞受賞者のうち、児童生徒の写真を２会場で展示しました。

であえーる会場では３月末まで開催しておりますので、ぜひご覧ください。

会場①：【終了】生涯学習センターいわなび
会場②：であえーる岩見沢４階
期　間：２月15日～３月31日
　　（土日祝を除く）
時　間：午前９時から午後５時30分

ALTを紹介します！ *Introducing "Assistant Language Teacher"!*

岩見沢市は、各小中学校と緑陵高校に外国語指導助手（ALT）を配置しています。ALTは、学校で外国語活動及び英語の授業における補助を行うほか、教育委員会主催の「土曜キッズ英会話」や「英検学習会」で講師を担当したり、岩見沢市の姉妹都市であるアメリカ・ポカテロ市との交流など、さまざまな活動に参加しています。

Question item（質問事項）
Q1. 岩見沢の子どもたちの印象は？　　Q2. 好きな日本語は？　　Q3. 最後に一言！

Charles Nelson

名前：ネルソン　チャールズ
出身国：アメリカ　　在籍校：明成中・日の出小・上幌向中

Ｑ１：アメリカでは保護者と一緒に登校しますが、日本の子どもたちは自分自身で登校することがほとんどで自由の度合いに違いを感じます。
Ｑ２：「烏賊」　なぜ日本ではイカを「カラス泥棒」と呼ぶのでしょうか？
Ｑ３：おすすめの味噌ラーメン、特に辛味噌ラーメンのお店を教えてください！

Emily Ward

名前：ワード　エミリー
出身国：アメリカ　　在籍校：東小・北真小・緑中

Ｑ１：とても親切で賢いです。みんなとても面白くて、いろんな冗談を言って話しかけてくれます。素晴らしい子どもたちと一緒に過ごせて幸せです。
Ｑ２：「モフモフ」　声に出して言うと楽しくて、暖かい感じがするからです。
Ｑ３：岩見沢が大好きです！岩見沢で暮らし、働けることをうれしく思います！

Rachel Bortolon

名前：ボルトローン　レイチェル
出身国：アメリカ　　在籍校：幌向小・北村小・豊中・北村中

Ｑ１：何事にも一生懸命で、責任感が強く、外国のことを熱心に学ぼうとしている姿を見ると、私はいつも嬉しくなります！
Ｑ２：「紅葉」　木々が金や赤に色づく美しい秋の景色が連想させてくれます。
Ｑ３：昨年は色々な人が支えてくれた１年でした。これからの１年が楽しみです！

Jamie Raleigh

名前：ラリー　ジェーミー
出身国：アイルランド　　在籍校：志文小・メープル小・清園中

Ｑ１：とても熱心に勉強し、特に部活動に力を入れている姿勢も素晴らしいです。
Ｑ２：「信頼」　バランスが綺麗な漢字だと思います。
Ｑ３：これからも少しでもみなさんのお役に立てるよう、英語の指導をはじめ自身の日本語学習も頑張ります！

Jordane Delahave

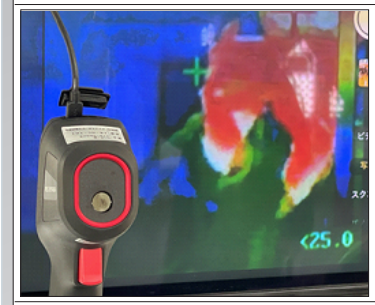
名前：デラヘー　ジョーダン
出身国：ジャマイカ　　在籍校：岩見沢小・第二小・東光中

Ｑ１：日本の子どもたちを見ていると、ジャマイカの子どもたちを思い出します！
Ｑ２：「よろしくお願いします」　一つの言葉で様々な表現ができるからです。
Ｑ３：日本文化を学ぶことで、ジャマイカの文化も深く考える機会になりました。日本での経験は非常に貴重なものです！

学校における新型コロナウイルス感染症防止対策をご紹介します

今号より、岩見沢市内の小中学校が行っている新型コロナウイルス感染症防止対策を定期的にご紹介していきます。

今回は、検温による体調不良の児童生徒の把握と、学校内のアルコール消毒の様子をご紹介します。

非接触型の体温測定（登校時）	毎日のアルコール消毒（下校後）
	
■玄関にはサーマルカメラが設置されており、登校時の児童生徒の体温を計測しています。玄関で立ち止まることなく検温できるため接触機会が低減します。 ■一部の学校では、ご家庭で記載した検温測定表をタブレットで入力し、検温記録を集計・確認しています。	■児童生徒の下校後、机やドアノブなど接触機会が多い箇所の消毒を徹底しています。消毒作業は、スクールサポートスタッフによって、各教室や共有スペース土足禁止のカーペットなどにも毎日アルコール消毒を施しています。

【お問合せ先】学校教育課　　電話 0126-35-5121

教育長室から

『当たり前の幸せ』

教育長　三角　光二

コロナ禍と呼ばれるようになって、それまでの当たり前だった生活が、いかに貴重で幸せな日々だったのか、私たちは改めて実感しました。

誰もが行動変容を求められる中、不寛容で、お互い様の精神が薄れつつある人々の姿が表面化しました。感染した人を特定して誹謗中傷する、態度が気にいらない応対が悪いと怒りをぶつけるなど、相手の人格までも否定して徹底的に攻撃するという激情型の行為が蔓延しています。SNS による執拗な誹謗中傷に深く傷つき自死するに至った痛ましい事件もありました。また、「そんなつもりはなかった」「自分だけじゃない」と自分の行為を軽くとらえ責任から目をそらす、他者理解とはかけ離れた態度に、思いやりや自らの行為を客観的に見つめる道徳心が欠けているように思います。

市内の学校でも感染したお子さんがいます。学級の仲間が交わした SNS では、互いを気遣い思いやる言葉がやりとりされたと聞きました。優しさのある仲間関係と親和的な学級づくりがしっかりとなされていることを、とても嬉しく感じました。

近い将来人工知能が飛躍的に発達して人類の知能を超えると予想されています。そうした未来社会では、人間らしさを活かした人間中心の社会づくりこそが重要になると言われています。そんな次代を生きる子どもたちには、人間教育が鍵となります。うまくいかないときや思い通りにならないときにどう行動するか、困難に直面したときにその人の人間性があらわれます。子どもたちには、どんな困難にもあきらめずに立ち向かい、失敗にもへこたれず、周囲の仲間と力を合わせて難題を乗り越える、「生きてはたらく力」を育てたいと考えています。

教育は、人を幸せにする営みです。学校では、子どもたちが自己実現を図るために、子どもの思考に働きかけ、仲間と協働しながら問題を解決する「子どもが主人公になる」授業、子どもの人格を尊重した「子どもを徹底して大切にする」学校づくりに取り組みます。そして「子どもが輝く岩見沢の教育づくり」に向けて、市内の先生方が熱心に取り組みを進めています。コロナ禍であっても、子どもたちが元気で明るく過ごし、存在感や有用感を実感することができるよう、子どもたちにとって当たり前の幸せを提供することに努めていきます。